



北黒田に新しい保育所が完成 松前ひまわり保育所落成式

「松前ひまわり保育所落成式」は9月16日、同園内で開催されました。

この保育所は、松前保育所と宗意原保育所を統合して、NTT 社宅跡地（北黒田）に建設したものです。式では、岡本町長が「この保育所を拠点に、安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを進めたい」とあいさつ。その後、保育所を命名した成田朱里さん、富永治さんを表彰したほか、園児が踊りや歌を披露して式に花を添えました。

開園は10月です。施設の内部については、改めて広報などでお知らせします。



㊤園児が元気いっぱいの踊りで式に花を添える ㊦命名者に感謝状を贈呈 ㊧落成式後、内覧会も行われた ㊨保育所園舎



戦没者の冥福を祈って 戦没者追悼式

町主催の「戦没者追悼式」は8月22日、文化センターで行われ、遺族や団体の代表者などが参列しました。

式辞で、岡本町長は「義農精神を受け継ぎ、いつまでも心安らぐまちづくりを進めたい」とあいさつ。さらに、遺族を代表して峰岡良男さんが「戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に伝える責任がある」と訴えました。その後、参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。



安全なまちづくりに向けて 第9回おたたさんで交通茶屋

「第9回おたたさんで交通茶屋」は9月9日、エミフルMASAKIで行われ、多くの家族連れが訪れました。

子育て支援センターによる安全な横断歩道の渡り方の実演と親子ダンスで始まったイベントでは、町の魅力を発信するため活動中の「まさきーいいとこ見つけ隊」が自分たちで作製した町内観光スポットマップをお披露目しました。また、伊予高生がスポットマップに基づき、交通事故に気を付けて町内を観光するためのポイントを発表しました。

その後、おたたさん姿の町交通安全推進協議会会員と伊予高生が、買い物客に交通安全グッズや国体グッズを配布。訪れた人々に「事故に遭わないよう交通ルールを守り、松前町のいいところを巡ってください」と呼び掛けました。



㊤横断歩道の渡り方を実演 ㊦おたたさんがグッズを配布 ㊧見つけ隊のマップを基に伊予高生が町内の魅力と危険箇所を説明



まさきをおしゃれに

私たちが創る!! おしゃれタウンまさき

「まちづくり女性会議」は9月16日、福祉センターで行われ、おしゃれなまちづくりに関心のある女性27人が参加しました。

この会議は、女性の感性をまちづくりに生かそうと、昨年度に引き続き実施したものです。最終回のこの日は、今までグループで話し合った結果を町長らの前で発表。町内名所の撮影スポットの整備とSNSの充実や、まさきの魅力を再発見するウォーキングコースの作成などの意見が出ました。いただいた意見は、今後のまちづくりの参考にしていきます。



大規模災害に備えて

平成29年度松前町総合防災訓練

「松前町総合防災訓練」は9月3日、北伊予小学校を主会場に行われ、防災関係機関や住民など700人近くが参加しました。

訓練は、愛媛県内陸部を震源とする震度7の地震が発生し、家屋倒壊や火災などでライフラインが寸断されたという想定で行いました。参加者は小学校に避難後、各種訓練を実施。バケツリレーによる「初期消火訓練」、火災現場を体験する「煙体験訓練」、住民が協力してがれきの中の人を救出する「共助救出訓練」などに取り組みました。また、消防団や役場などの機関も災害対策本部訓練などを行い、もしものときに備えました。

訓練の一部を14ページの「松前の防災力」で紹介しています。訓練に参加していない人も、一緒に町の防災力を高めましょう。



1_共助救出訓練 2_初期消火訓練 3_災害対策本部訓練 4_火災防御訓練 5_炊き出し訓練 6_煙体験訓練



重信川で自然観察会

松前町子ども環境学園 2017

「松前町子ども環境学園 2017」の自然観察会は8月18日、重信川で行われ、町内の小中学生40人が参加しました。

観察会では、川に入って水中に生息する水生生物を採取。「きれいな水」の指標となるサワガニのほか、モズクガニなど、たくさんの生き物が捕れました。

参加した子どもたちは、「たくさんの生き物がいてびっくりした。自然や生態系を守らなといけない」と環境保全の大切さを学んでいました。

- ㊤きれいな水にいる生き物が判定
- ㊦川に入って水生生物を採取



大間地区「火流し」「灯籠流し」

お盆、盂蘭盆の伝統行事

大間地区の有明橋付近で伝統行事「火流し」「灯籠流し」が行われ、地区住民をはじめ多くの見物客が訪れました。

火流しは、8月14日、中学生が板の上にわらを乗せ、火をつけて川の中で引っ張って祖先の霊を迎え、翌15日、同様にして霊を送る行事です。一方、灯籠流しは8月25日、灯籠を川辺に浮かべ、祖先をしのびます。双方の行事とも、川面には幻想的な風景が広がっていました。

- ㊤色とりどりの灯籠が浮かぶ灯籠流し
- ㊦勢いよく燃える火流し



長寿をお祝いへ

平成 29 年度長寿者訪問

9月18日の敬老の日を前に、岡本町長と岡井議長は9月11日、100歳と最高齢の高齢者を訪問し、長寿を祝いました。

岡本町長と岡井議長は、個人宅や福祉施設など7カ所を訪れ、「100歳を超える長寿は松前町の誇りです」と一人一人に声を掛け、お祝い状と記念品を贈呈しました。

本年度、新100歳を迎える人は次の通りです。
※ 新100歳となった12人のうち、6人を掲載しています。



布 充江さん

＝北川原＝



戒田 ツヤ子さん

＝北川原＝



横山 道子さん

＝北川原＝



小松 キヨコさん

＝北川原＝



町内最高齢は 107 歳

中村 千恵さん

＝永田＝

「おかげさまで、毎日元気に過ごすことができています」と話していました。



佐々木 君枝さん

＝新立＝



菅原 道子さん

＝恵久美＝



笑って いつまでも元気に

おたのしみバラエティショー

65歳以上を対象とした敬老事業「おたのしみバラエティショー」は9月16日、文化センターで開催されました。

岡本町長の歌謡浪曲「俵屋玄播」で幕を開けたステージは、出森バレエルームの子どもたちが華麗に舞うクラシックバレエ、大間ありあけ会による伊予万歳、そして、民謡歌手藤田かおりさんが民謡「宇和島さんさ」「南部俵つみ唄」を披露するなど、町芸能有名人がバラエティーに富んだ演芸を発表しました。

その後、西高柳出身、桂三幸さんの司会で進んだショーは、テレビでおなじみの月亭方正さんが落語を披露。方正さんの語り口に、文化センターに集まった約350人の笑いは絶えず、会場は笑顔であふれていました。



- ㊤落語を披露する月亭方正さん
- ㊦方正さんの落語で観客の笑みがこぼれる
- ㊧ステージの幕開けを飾った岡本町長



24 時間でつなぐチャリティーの輪

24 時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI

町体育協会主催「24時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI」は8月26、27の両日、松前公園などで行われました。

このイベントは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して行われているものです。計19種目を24時間をつなぐ形でを行い、参加者はスポーツと募金でチャリティーの輪を広げました。

また、今年は番組が40回の節目を迎えるに当たり、協会はこのイベントを33年連続実施している点が評価され、日本テレビから感謝状が贈られました。

集まった募金17万9,738円は、24時間テレビに寄付されました。

